東京音楽大学リポジトリ
Tokyo College of Music Repository

作曲家松村禎三とピアニスト野島稔：～2つのピアノ協奏曲を巡って～

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高橋, 裕, Takahashi, Yutaka メールアドレス: 所属:
URL	https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/1278

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

作曲家 松村禎三 と ピアニスト 野島稔
～2つのピアノ協奏曲を巡って～

作曲家、アプサラス[3]会長
高橋　裕

作曲家松村禎三[1]とピアニスト野島稔[2]という傑出した二人の作品と演奏に関する話は、我々作曲家にとって、喉から手が出るほど欲していたものであった。

しかも世界に驚嘆の念をもって迎えられた、松村禎三のピアノ協奏曲である。加えて松村禎三の家に家族同然のように泊まり込み、麻雀に明け暮れていた野島稔東京音楽大学学長のインタビューである。当日は想像を越えた話しの数々に思わず引き込まれ、レッスンの学生を長く待たせてしまうことになってしまった。特に、作曲に工夫が凝らされた繋ぎの部分の演奏についてや、ペダルについての話。続けざまに作曲された第1番と第2番のコンチェルトの違いに関する話は、殊の外興味深いものであった。至宝のような自筆譜の載ったこのインタビューを、志ある作曲家やピアニスト等々、多くの方々にじっくり味わっていただきたいものである。この稀有なインタビューの刊行にご尽力いただきました多くの方々に、ただただ感謝申し上げる次第である。

---

[1] 松村禎三（まつむら ていぞう 1929年1月15日–2007年8月6日）京都府生まれの作曲家、俳人。東京藝術大学名誉教授。《交響曲第1番》（1965年）、《管弦楽のための前奏曲》（1968年）、オペラ《沈黙》（1993年）など。現代音楽のみならず、映画・舞台音楽も多数手がけた。

[2] 野島稔（のじま みのる 1945年5月23日–）神奈川県横須賀市出身のピアニスト。1963年第32回日本音楽コンクール第1位大賞受賞。2014年、日本芸術院賞を受賞。2011年より東京音楽大学学長。

[3] アプサラスとは、日本を代表する作曲家松村禎三の業績を讃え、作品を世に広めるとともにその遺志を継ぎ、新たな創作・演奏活動を通して音楽芸術の新境地を拓くべく、志を同じくする者により2008年に設立された会。会名の「アプサラス」は、松村のフルート、ヴァイオリン、ピアノのための作品《アプサラスの庭》（1971年／1975年改訂）から命名された。